

「令和8年度天竜川下流連合総合水防演習」に参加しました

令和8年5月31日（日）、天竜川右岸 かささぎ大橋下流河川敷（浜松市中央区豊町地先 豊西緑地付近）で「令和8年度 天竜川下流連合総合水防演習」が開催され、26団体、約1,000人が参加しました。中部地域づくり協会は、防災エキスパートによる災害報告や展示・体験コーナーでの出展を行いました。

展示・体験コーナーでは、今年が50年の節目となる「長良川の堤防が決壊した9.12豪雨災害」のパネル展示や「新たな防災気象情報」の運用に伴い改良したVRによる浸水疑似体験、伊勢湾台風A1語り部との対話体験などを行いました。中でも、体重計を用いた「ドアにかかる水圧体験」が好評で、浸水時の水の威力を体感していただきました。また、9.12豪雨災害を特集した防災啓発冊子『近年の豪雨災害記録集・2025 自然に学び、自然に備える』の配布も行いました。

防災エキスパート



展示・体験ブース

